

令和6年度(令和5年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表
2次評価者

水道部下水道課

水道部長 岸岡宏昌

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
27-1	雨水整備事業	C	老朽化が進むポンプ場施設において、ストックマネジメント計画に沿って北浜田・東成岩排水ポンプ場の改築・更新を実施し排水機能を確保することができた。 安全対策として、国は令和7年度までに「想定最大規模降雨の浸水シミュレーション」による浸水想定区域図を市民に周知するよう示しているため、更なる調査や台帳作成等を行い、浸水シミュレーションを実施する。	改善推進	老朽化が進んでいる排水ポンプ場については、引き続き施設の改築・更新、耐水化、耐震対策を進めていく。また、雨水管理方針において重点対策地区となった港、前潟、東成岩排水区については、早期の対策が重要であり、必要となる事業費を確保していく。
27-2	污水整備事業	C	接続率については、前年度比0.5%増の88.6%で目標値を下回り、また、浄化槽及び汲み取りからの切り替え件数は、前年度比36件減の80件となった。接続率向上の対策として、未接続の集合住宅176件、大口使用者51件を戸別訪問等を実施した結果、集合住宅14件、大口使用者2件の接続を得ることができた。 老朽化対策としては、土地区画整理による污水管布設から40年以上経過した白山地区において、管渠の布設替を実施し、耐震化においてはマンホール耐震化工事を8か所実施するなど、計画どおり実施することができた。 下水道使用料を令和5年4月に改正し、令和8年度以降に予定している2回目の使用料改定により、下水道事業の完全な自立経営を目指していく。併せて、引き続き接続が可能な世帯に絞った効率的な戸別訪問を積極的に進めるなど、有収水量の増に努めることで収益増につなげていく。	改善推進	接続率の向上を図るため、職員による効率的な戸別訪問を実施し、訪問する世帯の絞り込みを行い、大口使用者や共同住宅の責任者と面談を重ねて確実に接続してもらえるよう取り組む。また、不明水対策については瑞穂地区で効果が出たため、引き続き対策に取り組んでいく。 下水道事業経営については、審議会の意見も踏まえながら令和8年度の使用料改定に向けて取り組み、下水道事業の完全な自立経営を目指す。
課等長	1次評価（令和5年度の総括評価）				
C	雨水整備事業：特にポンプ場の3施設は築年数30年以上経過していることから老朽化が確実に進んでおり、多額の修繕費用を要する施設でもあるが、計画性を持って、場合によっては、前倒ししてでも整備を必要とする重要施設である。令和5年度は、普段の点検等を踏まえて事業実施をしてきたと評価できる。 污水整備事業：下水道使用料の改定を実施したことで収支は改善したが、自立経営には至っていないため、再度の使用料改定の検討をはじめ、接続率や不明水問題を着実に解消していくなど、下水道使用者が納得いく料金改定としなければならない。				
部等長	2次評価（令和5年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
C	雨水整備事業：老朽化が進む排水ポンプ場については、ストックマネジメント計画に基づいて改築・更新工事を計画的に進められている。今後も国費を含めた事業費の確保が重要となる。また、古くに整備された排水路など既存ストックの改良などを積極的に進めることも必要である。 污水整備事業：使用料改定を実施したが、経費回収率は100%に満たないため、引き続き自立経営に向けた取り組みが必要である。特に接続率の向上は、事業の目的、事業経営の改善のために重要であるため、積極的かつ継続的に接続依頼等を実施し、接続に繋げること。また、不明水についても新たな知見も含めて対策を実施し、軽減を図ること。				

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	27-1																																								
PDCA	主要事業名	雨水整備事業	部課名	水道部下水道課	担当	新美																																								
					内線	481																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 1,192,034 千円					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	会計 下水道事業会計 歳出科目： 01.01.02（資本的収支）																																													
	事業概要等	事業概要： 市民の生命や財産を守るため、計画的な下水道施設の整備や既存の雨水排水機能の維持に努め、浸水被害の軽減を図る。																																												
		事業目的： 浸水被害を軽減し、雨に強いまちをつくる。																																												
		事業内容： 大型台風や近年多発している集中豪雨への対策として、岩滑、半田東雨水管渠の整備等を実施する。また、排水ポンプ場の排水能力を確保するため、北浜田排水ポンプ場の耐震工事、東成岩排水ポンプ場の耐水化工事やストックマネジメント計画に基づき、老朽化が進んでいる北浜田排水ポンプ場、亀崎雨水管渠の改築・更新工事を実施する。																																												
		問題点・課題等： 都市化の進展や想定を上回る集中豪雨が多発しており、浸水被害のリスクが課題等： 高まっている。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	1,193,146 千円	市民の生命や財産を浸水から守り、安心・安全で快適な生活を送れるよう、雨に強いまちをつくる必要があるため。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 37,756 千円	大型台風や近年多発している集中豪雨等による浸水被害が抑制される。また、浸水対策の最重要施設である排水ポンプ場の排水能力が確保される。																																												
	国費 567,390 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">排水ポンプ場の耐水化率</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>75.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	排水ポンプ場の耐水化率	実績値	—	—	—	%	目標値	—	—	75.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	排水ポンプ場の耐水化率	実績値	—	—	—		%																																							
		目標値	—	—	75.0		%																																							
		実績値																																												
目標値																																														
その他	実績値																																													
	目標値																																													
588,000 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額 38,720 千円	得られた成果																																												
	スtockマネジメント計画に基づく、北浜田・東成岩排水ポンプ場の改築・更新工事を実施することにより排水機能が維持された。また、北浜田排水ポンプ場については、耐震工事が完了し、地震によるリスク対策がなされ、東成岩排水ポンプ場については、耐水化工事が実施した。																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">排水ポンプ場の耐水化率</td> <td>実績値</td> <td>75.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>75.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	排水ポンプ場の耐水化率	実績値	75.0	%	目標値	75.0	%																														
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	排水ポンプ場の耐水化率	実績値	75.0	%																																										
		目標値	75.0	%																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 老朽化が進むポンプ場施設において、ストックマネジメント計画に沿って北浜田・東成岩排水ポンプ場の改築・更新を実施し排水機能を確保することができた。 安全対策として、国は令和7年度までに「想定最大規模降雨の浸水シュミレーション」による浸水想定区域図を市民に周知するよう示しているため、更なる調査や台帳作成等を行い、浸水シュミレーションを実施する。																																												
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 老朽化が進んでいる排水ポンプ場については、引き続き施設の改築・更新、耐水化、耐震対策を進めていく。また、雨水管理方針において重点対策地区となった港、前潟、東成岩排水区については、早期の対策が重要であり、必要となる事業費を確保していく。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ある																																									
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更																																										
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																											

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	27-2
PDCA	主要事業名	汚水整備事業	部課名	水道部下水道課		担当 内線	久保 477
P	総合計画：4 - 1 - 1 単位施策：防災・減災 4 3 3 下水道						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	全体事業期間：令和5年度～5年度 全体事業費等：344,908千円						
	会計 下水道事業会計 歳出科目：01.01.01（資本的支出）						
	事業概要等	事業概要：公共下水道整備を実施して供用区域の拡大を図るとともに、接続率を向上して生活環境の改善に努める。また、ストックマネジメント計画により、老朽化した管渠の改築更新工事を実施するとともに、地震対策として、マンホールの耐震化を計画的に実施する。					
		事業目的：生活環境の改善及び老朽管・地震対策					
		事業内容：生活環境の改善は、接続率を向上するために、接続可能な世帯への効率的な戸別訪問を行っていく。また、老朽管対策として、供用開始から40年以上経過した地区の布設替工事を進め、地震対策として耐震性の無い汚水施設の耐震化工事を実施する。					
		問題点・課題等：下水道使用料による自立経営を達成するために、接続率向上による収入増や不明水対策による支出の縮減などの経営改善を進めていく必要がある。					
	予算額 344,908千円	主要事業とする理由					
	財源内訳	汚水整備事業は、環境保全や快適な都市生活を送るために欠かすことのできない都市基盤となるため					
	市費 21,076千円	得られる成果					
国費 58,982千円 県費 650千円	接続可能な世帯への効率的な戸別訪問を行って、接続率が増加することにより、住環境や経営改善を図ることができる。また、40年以上前に換地処分された旧区画整理区域の老朽管更新や、汚水幹線管路の耐震化を進めることにより、道路陥没等の事故や地震時における管路被害を軽減し排水機能が確保される。						
その他 264,200千円	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	
	下水道接続率	実績値	87.6	88.1	—	%	
		目標値	88.7	88.8	89.6	%	
	マンホール耐震化数	実績値	4.0	6.0	—	か所	
		目標値	4.0	6.0	8.0	か所	
		実績値					
		目標値					
D 値得られた成果と実績	決算額 241,360千円	得られた成果					評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用
	市費 776千円	瑞穂地区の不明水対策による不明水量の減や下水道使用料の改定により基準外繰入金が増えたことにより経営改善が進んだ。また、マンホールの耐震化工事により自然災害への対策も推し進めることができた。					
	国費 47,000千円	成果指標		令和5年度	単位		
	県費 530千円	下水道接続率	実績値	88.6	%		
	目標値		89.6	%			
	その他 193,054千円	マンホール耐震化数	実績値	8.0	か所		
	目標値		8.0	か所			
C 課題の整理	事業の評価・課題	C					
		接続率については、前年度比0.5%増の88.6%で目標値を下回り、また、浄化槽及び汲み取りからの切り替え件数は、前年度比36件減の80件となった。接続率向上の対策として、未接続の集合住宅176件、大口使用者51件を戸別訪問等を実施した結果、集合住宅14件、大口使用者2件の接続を得ることができた。老朽化対策としては、土地区画整理による汚水管布設から40年以上経過した白山地区において、管渠の布設替を実施するとともに、耐震化においてはマンホール耐震化工事を8か所実施するなど、計画どおり実施することができた。 下水道使用料を令和5年4月に改正し、令和8年度以降に予定している2回目の使用料改定により、下水道事業の完全な自立経営を目指していく。併せて、引き続き接続が可能な世帯に絞った効率的な戸別訪問を積極的に進めるなど、有収水量の増に努めることで収益増につなげていく。					
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進					
		接続率の向上を図るため、職員による効率的な戸別訪問を実施し、訪問する世帯の絞り込みを行い、大口使用者や共同住宅の責任者と面談を重ねて確実に接続してもらえるよう取り組む。また、不明水対策については瑞穂地区で効果が出たため、引き続き対策に取り組んでいく。 下水道事業経営については、審議会の意見も踏まえながら令和8年度の使用料改定に向けて取り組み、下水道事業の完全な自立経営を目指す。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		